

平成 29 年度版施工パッケージの舗装関係の計算方法について

「基層（車道・路肩部）・中間層（車道・路肩部）・表層（車道・路肩部）」
 「基層（歩道部）・中間層（歩道部）・表層（歩道部）」
 「排水性舗装・表層（車道・路肩部）」 「透水性アスファルト舗装」の場合
 条件区分に実数入力を行い積算します。

計算例

- ・施工パッケージ名称：表層（車道・路肩部）
- ・条件区分：1.4m 以上、**平均仕上り厚 70mm**、密粒度 As20
 （締固め後密度 2.35t/m³）、タックコート PK-4

条件を設定しますと、「1 行目（材料） 実数量を入力してください。」のメッセージが表示されます。

数量/地区の欄に [70] を入力してください。（条件が平均仕上がり厚 70mm の場合）

数量/標準	標準単価	数量/地区	地区単価	支給品
0	50.000	10,800.0	11,900.0	31
0		91.0	90.0	31
0		89.0	104.0	30
0				30

割増	単価	夜間	x1.5	x1	単価
0	19,900	0			30
0	21,000	0			30
0	21,500	0			30
0	23,200	0			30

※ 労務費の割増は左列の割増の欄を変更してください。（例5%割増の場合は1.5）

この計算方法について次頁に参考解説の資料があります。

条件区分に実数入力を行い積算する場合の計算例

1. 「基層(車道・路肩部)・中間層(車道・路肩部)・表層(車道・路肩部)」

「基層(歩道部)・中間層(歩道部)・表層(歩道部)」

「排水性舗装・表層(車道・路肩部)」「透水性アスファルト舗装」の場合

- ・ 施工パッケージ名称：表層（車道・路肩部）
- ・ 条 件 区 分：1.4m 以上、平均仕上り厚 **70mm**、密粒度 As20
(締固め後密度 2.35t/m³)、タックコート PK-4
- ・ 標 準 単 価：1,603.0 円

→ 名古屋地区の H29.4 における積算単価を算出

表 3：表層（車道・路肩部）の代表規格・構成比

	規格	構成比(%)	東京(H28.4)(円)	名古屋(H29.4)(円)
K		3.57	—	—
K1	アスファルトフィニッシャ [ホイール型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 舗装幅 2.4~6.0m	1.92	41,100	41,100
K2	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t	0.54	11,400	11,400
K3	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 10~12t 締固め幅 2.1m	0.54	12,400	12,400
R		8.88	—	—
R1	普通作業員	3.22	19,800	18,900
R2	特殊作業員	1.84	22,700	22,100
R3	運転手 (特殊)	1.79	22,300	21,700
R4	土木一般世話役	0.61	23,000	23,000
Z		87.55	—	—
Z1	アスファルト混合物 密粒度 A S 混合物(20) (平均仕上り厚 50mm)	84.76	540,000 ^(注) (50mm×10,800 円/t)	756,000^(注) (70mm×10,800 円/t)
Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.44	91	89
Z3	軽油 1.2 号 バトロール給油	0.30	89	101
Z4	—	—	—	—
S	—	—	—	—

※機械単価、労務単価、材料単価は仮定の単価とする。

$$P'(\text{名古屋 H29.4}) = 1,603.0$$

$$\begin{aligned} & \times \left\{ \left(\frac{1.92}{100} \times \frac{41,100}{41,100} + \frac{0.54}{100} \times \frac{11,400}{11,400} + \frac{0.54}{100} \times \frac{12,400}{12,400} \right) \times \frac{3.57}{1.92 + 0.54 + 0.54} \right. \\ & + \left(\frac{3.22}{100} \times \frac{18,900}{19,800} + \frac{1.84}{100} \times \frac{22,100}{22,700} + \frac{1.79}{100} \times \frac{21,700}{22,300} + \frac{0.61}{100} \times \frac{23,000}{23,000} \right) \times \frac{8.88}{3.22 + 1.84 + 1.79 + 0.61} \\ & + \left(\frac{84.76}{100} \times \frac{756,000}{540,000} + \frac{2.44}{100} \times \frac{89}{91} + \frac{0.30}{100} \times \frac{101}{89} \right) \times \frac{87.55}{84.76 + 2.44 + 0.30} \\ & \left. + \frac{100 - 3.57 - 8.88 - 87.55}{100} \right\} = 2,141.9405387779 \dots \approx 2,142(\text{円/m}^2) \end{aligned}$$

※積算単価は、有効数字4桁、5桁目を降切り上げ。

(注)アスファルト混合物の材料費(m² 当り)は、**平均仕上り厚(mm)** / 1,000 × **締固め後密度(t/m³)** × **材料単価(円/t)** × (1+ロス率)で算出するが、計算例では締固め後密度(t/m³)を同条件としているため、簡易的に材料費を算出している。また、材料のロス分については標準単価に含まれている。